

日本を元気にする 茨城の野立太陽光発電



▲土浦市荒川沖 第一ひまわり発電所 野立 48kW（モジュール 250W・192 枚）一般家庭約 16 軒分の使用量 5 月 15 日から売電
工事費 1,680 万円。 20 年間の発電収入 1,995,840 円/年 × 20 年 × 0.92(効率低下分)=3,672 万円（予定）



▲つくば市島名 ひまわり発電所 野立 108kW（モジュール 250W・432 枚）一般家庭約 36 軒分の使用量 9 月 7 日から売電
工事費 3,780 万円。 20 年間の発電収入 4,490,640 円/年 × 20 年 × 0.92(効率低下分)=8,262 万円（予定）

地元企業の施工で地域の活性化へつなげる

固定価格買取制度 (FIT) で確実に収益が上げられることが分かった今、メガソーラー (1,000kW 以上) ほとんどが県外の大手企業によって施工されています。地域の自然から得られるエネルギーであるのに、収益が県外に流出しています。地元企業が施工することにより、地元の仕事 (雇用) が生まれ、収益も地域のために還元することができます。

再生エネルギーの 担い手になるのはあなた！

太陽光発電事業は利潤が出る仕組みを国が作ったことに気付いた方々からのご注文が増えています。

国の行政施策

再生可能エネルギーの固定価格買取制度が始まりました。(FIT)
日本の再生可能エネルギーを社会全体で育てる仕組みに、
あなたの協力が必要です。

この制度は、(1) 国産エネルギー自給率がアップすること、(2)CO2 の排出が少なく、地球温暖化対策を進めること、(3) 日本の得意な技術を生かせるため、日本の未来を支える産業を育成することを後押しします。平成 24 年 7 月 1 日から始まった買取制度の施行後 3 年間は、集中的な再生可能エネルギーの利用の拡大を図るため、再生可能エネルギーの供給者の利潤に特に配慮することとしています。(経産省)

遊休地、耕作放棄地、休耕田等を活用した太陽光発電が増えれば脱原発に直結
8 月現在、野立太陽光発電 60.75kW を 20 基 (土地の無い方が 8 割) 以上の注文を受け、
県南を中心に工事中です。見学や相談希望の方はお電話ください。

※ 発電収入は傾斜角 20° 方位角真南より西へ 20° ズレの当社設置モジュールの実証数値にて計算しました。
※ FIT は、フィードインタリフ (Feed-in Tariff) 固定価格買い取り制度の意。

経済産業省
資源エネルギー庁



合同会社
自然素材・木の家

<http://sizensozai-kinoie.com>

自然素材 木の家

検索

(担当: 平戸治夫)

携帯 090-4815-3072

太陽光発電事業部 TEL 029-886-9686

◎つくば市赤塚 678-3
駐車場 20 台分有り